

会告

日本オペレーションズ・リサーチ学会創立40周年記念 「若手研究者への海外渡航助成」のお知らせ

本誌の1996年8月号に会告として掲載しましたとおり、本学会は創立40周年記念事業のうち『OR振興のための国際協力事業〈支援：大和ハウス工業株〉』の一環として、向う5年間にわたり、OR関係の優れた若手研究者の国際会議等への参加費用の支援を行うことになりました。つきましては、下記要領により第1回の助成の募集を行いますので、奮ってご応募ください。

記

【応募資格】 下記のすべての条件を満たす方。

1. 本学会の正会員または学生会員であること。
2. 大学の博士後期課程に在籍している学生、あるいは大学・非営利の研究機関に所属している研究者で、他の財政的援助を得にくいこと。
3. 1997年3月31日現在で年齢35才以下であること(ただし、予算に余裕があった場合には37才程度まで考慮する可能性があります)。
4. 1997年4月から1998年3月までに海外で開催されるOR関係の国際会議に出席して論文を発表する予定であること。

【応募方法】

本学会事務局にFax (03-3815-3352) で申請要項を請求してください(電話での請求は極力御遠慮ください)。Faxで要項を送付しますので、その指示に従って必要書類を調べ、事務局へ郵送してください。

【募集締切】

1997年2月末日(必着)

【募集締切】

採否および援助額の決定は、選考委員会を設けて行います。選考に際しては、IFORSおよびAPORSが主催あるいは共催する会議に若干重点を置きます(今回の募集では、たとえばAPORS'97がこれに該当します)。採用者数は数名(5~10名程度)の予定です。援助額は、渡航費+滞在費+会議登録費を越えない範囲で決定します。選考結果は、4月上旬頃に応募者に個別に通知する予定です。

研究者・技術者のための/コンベンション関係者・一般会社のための

学協会集会スケジュール

社団法人 日本工学会編 年6回発行 A4判 約80ページ/回

- 《内容》 ●開催年月日、主催学協会名、集会名、開催場所、主催・共催・後援学協会名および連絡先を掲載
●最新情報を毎回追加収録
- 《特色》 ●理工学系学協会の学術・研究集会が一目で分かる
●専門分野以外の集会を知ることができる
●他学協会との開催時期・開催地の重複が避けられる
●学術情報センターの集会スケジュールのデータベースが利用できる

*年間購読料(消費税別)

書籍・フロッピー両方購読の場合

(送料共) 30,000円

書籍のみの購読の場合

(送料共) 24,000円

フロッピーのみの購読の場合 (送料共) 23,700円

以上いずれも申込月から1年間とします(原則)

問合せ先 (社)日本工学会

〒107 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

TEL 03-3475-4621 FAX 03-3403-1738

会告

日本オペレーションズ・リサーチ学会創立40周年記念

シンポジウムプログラム (第1報)

「21世紀の経営とOR」

日時：平成9年6月2日(月)午前10時～午後5時

場所：経団連会館 国際会議場

第Ⅰ部 創立40周年記念式典：

挨拶 近藤次郎 (記念事業企画推進委員会委員長)

挨拶 刀根 薫 (日本OR学会会長)

来賓挨拶

報告 「日本OR学会長期ビジョン」

梅沢 豊 (長期計画委員会委員長)

記念シンポジウム

第Ⅱ部 OR新潮流：

報告1 「経営の科学としての新潮流」 刀根 薫 (日本OR学会会長, 埼玉大学教授)

報告2 「決定論モデル(数理計画等)の新潮流」 茨木俊秀 (京都大学教授)

報告3 「確率・ファジィモデルの新潮流」 伏見正則 (東京大学教授)

第Ⅲ部 特別講演「21世紀の経営とOR」：

特別講演1 「新時代の経営とOR」 ガースナーIBM会長または北城恪太郎日本IBM社長

特別講演2 「新時代の政治とOR」 鳩山由紀夫民主党代表, OR学会評議員

なお、以上の報告、特別講演の演題は仮題です。また、記念シンポジウム終了後、経団連会館内ダイヤモンド・ルームにおいて懇親会を開催いたします。

参加要領

- 1) 記念シンポジウム参加費は無料です。ただし懇親会は有料です。参加申し込み方法については、次号以降にご案内いたします。
- 2) 新潮流の報告に関連して、翌日6月3日にセミナーを開催する予定です。具体的内容は決まり次第、ご案内いたします。

日本オペレーションズ・リサーチ学会創立40周年記念 懸賞論文募集のお知らせ

本学会は、会員の皆様のお蔭をもちまして1997年春に創立40周年を迎えます。そこで、40周年記念事業の一環として、下記要領により記念懸賞論文の募集を行います。奮ってご応募ください。

記

〔テーマ〕 論文のテーマは以下の3つのカテゴリーのいずれかとします。必ずカテゴリー番号と表題をつけてください。

カテゴリー1. Windows族をORに取り込むための戦略

Windows3.1やWindows95などは、単なるOSに過ぎません。Windows族は問題解決のために応用ソフトを必要としているはずで、問題解決法としてはORは先輩格にあたります。100万人とも言われるWindows人口の1パーセント(1万人)でもOR学会に取り込むことはできないでしょうか。そこでそのための戦略を述べてください。

カテゴリー2. 「大問題」とOR

21世紀に向けて世界は人口問題、食料問題、エネルギー問題そして地球環境問題などの難しい問題に取り囲まれています。また、日本国内でも超高齢化や産業空洞化等のいくつかの「難問」を抱えています。このような、容易には解決できそうもない「大問題」と、ORの関係について論じてください。

カテゴリー3. 21世紀のOR

21世紀初頭にどのようなORテクノロジーが発展し、成功を取めているか具体的に論じてください。

〔応募資格〕 特に定めません。

〔応募方法〕

1. 日本語ワープロ使用の上、A4用紙(1枚1200字程度)20枚以内とします(図表などを含む)。また1人につき応募論文は1編に限るものとします。
2. 表紙には、表題・氏名(ふりがな)・所属・連絡先(住所・電話番号等)を明記してください。
3. 他の文献からの引用箇所には、参考文献の番号を明記し、本文の巻末に参考文献の一覧表を付記してください。
4. 原稿はコピーを含め3部お送りください。
5. 入選論文につきましては著作権を日本オペレーションズ・リサーチ学会に譲渡して頂きます。
6. 原稿は返却いたしません。

〔賞および賞金〕 最優秀賞(1編)50万円、優秀賞(2編)各20万円

〔募集締切り〕 平成9年5月末日

〔論文提出先〕 封筒に「記念懸賞論文在中」と明記し、書留で郵送してください。

〒113 文京区弥生2-4-16 学会センタービル3F
日本オペレーションズ・リサーチ学会懸賞論文委員会宛

〔発表〕 平成9年9月1日